

トークイベント

2

2014 February

 mediaSeven



2月13日(木) 19:00~21:00

参加費 500円

北中 正和 (音楽評論家)

「記憶と記録でたどる“古代日本の音楽”」

©浅野暢晴



2月20日(木) 19:00~21:00

参加費 500円

大島 幹雄 (サーカスプロモーター/作家)

「明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか」



いま話題の著者や専門家を迎えて、 著作や日頃の活動についてお話しいただきます。

会場：メディアセブン 参加費：各 500 円 定員：各 40 名 ※先着順。空き状況についてはお問い合わせください。

知識や興味に対する新たな出会いの機会—

身近なものから目新しいものまで、幅広い分野の中から、個性豊かな活動をされている方々をご紹介しますトークイベントです。新鮮な驚きと発見にみちています。ぜひお気軽にお立ち寄りください。



2月13日(木)
19:00~21:00

北中 正和

(音楽評論家)

先着順 定員 40 名

参加費 500 円

司会：岡江真一郎 (メディアセブンスタッフ)

「記憶と記録でたどる“古代日本の音楽”」

「音楽」はどこからやって来たのでしょうか？音楽評論家の北中 正和さんをお迎えして、無料で読める音楽雑誌エリスで連載中の「音楽の記憶と記録をめぐって」で論じられている、紀元前から現代に至るまでの、我々の遠い祖先の音楽の記憶についてお話を伺います。

プロフィール：1946年、奈良県生まれ。京都大学理学部卒業後、69年に上京。「ニューミュージック・マガジン」の編集者を経て、世界の民族音楽やポピュラー音楽など幅広く評論活動を行っている。『毎日ワールド・ミュージック』（晶文社）『細野晴臣インタビュー—THE ENDLESS TALKING』（平凡社ライブラリー）など編・著書多数。



2月20日(木)
19:00~21:00

大島 幹雄

(サーカスプロモーター/作家)

先着順 定員 40 名

参加費 500 円

司会：佐藤大祐 (メディアセブンスタッフ)

「明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか」

明治期に海を渡り、ロシアのみならずヨーロッパ中の観客を魅了した日本人達がいました。『明治のサーカス芸人はなぜロシアに消えたのか』（祥伝社）の著者、大島 幹雄さんとその彼らの足跡をたどりながら、かつて海を渡って活躍した芸人たちの壮絶な人生に迫ります。

プロフィール：海外からサーカスやパフォーマーを呼んで日本でプロデュース。石巻若宮丸漂流民の会事務局長。テラシネ通信社を主宰し、Webサイト「テラシネ通信」を運営、不定期刊行の雑誌『アートタイムズ』を刊行している。

申し込み方法 以下のいずれかの方法でお申し込みください。 ※キャンセルされる場合は事前にご連絡ください。

- ① 来館メディアセブンのカウンターにて申し込み
- ② メールevent@mediaseven.jp までメールを送信
メール本文に①参加希望イベント名 ②日時 ③郵便番号 ④住所 ⑤参加者氏名 ⑥ふりがな ⑦年齢 ⑧電話番号 を明記ください
- ③ ホームページ公式サイト <http://www.mediaseven.jp/eventreserve.html> から申し込み
「予約申し込みイベント」から参加希望のイベント名を選択し、①メールアドレス ②申込者 ③郵便番号 ④住所 ⑤電話番号 ⑥生年月日を入力し、「確認する」→「登録する」をクリックしてください。

川口市立映像・情報メディアセンター
メディアセブン

〒332-0015

埼玉県川口市川口 1-1-1 キュポ・ラ 7F

◎開館時間 月 - 金 10:00-21:00 / 土日祝日 9:00-18:00

◎休館日 毎月第3金曜日（機器調整日）、1月1日 - 4日

◎お問い合わせ Tel. 048-227-7622 Fax.048-226-7724

◎URL <http://www.mediaseven.jp>

